



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	58	△64.1	△340	—	△341	—	△340	—
2019年12月期第2四半期	162	△53.3	△321	—	△320	—	△319	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △342百万円 (ー%) 2019年12月期第2四半期 △324百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△25.10	—
2019年12月期第2四半期	△27.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	1,588	1,487	92.6	103.21
2019年12月期	1,456	1,345	91.1	102.24

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,471百万円 2019年12月期 1,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

2020年第3四半期以降につきましては、売上計画の遅延を取り戻すことが喫緊の課題であります。依然として2020年12月期通期連結業績予想の数値について、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響額を現時点で合理的に算定することが困難なことから引き続き未定とさせていただきます。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	14,259,419株	2019年12月期	12,981,819株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	154株	2019年12月期	154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	13,571,890株	2019年12月期2Q	11,459,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大によって緊急事態宣言が発出され、社会・経済活動が大きく制限されたことから極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後、足下では経済活動が再開されつつありますが、再び感染者数が増加傾向にあり、景気の先行きについては新型コロナウイルス感染症第2波の到来が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような環境の下、全社員が感染拡大防止に努めつつ再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。当社事業もコロナ禍の影響から免れることが出来ませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は58,327千円(前年同四半期比104,023千円の減少)、営業損失は340,721千円(前年同四半期比19,624千円の増加)、経常損失は341,825千円(前年同四半期比21,272千円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純損失は340,693千円(前年同四半期比21,458千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、販売面におきまして器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化及び積極的な販促活動をした結果、カタログ掲載製品について国内代理店及び海外への売上が、前期及び第1四半期会計期間から引き続き予算対比大幅にアップしました。一方、当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、共同研究先である東海大学より受託した先進医療にかかる1例目の自己軟骨細胞シートの製造開始の遅れ、台湾の三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)より受託予定であった食道上皮シートの製造が中止となったことなどにより、当初の売上計画が未達となりました。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は56,524千円(前年同四半期比825千円の減少)、営業損失は7,106千円(前年同四半期比13,207千円の減少)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療等製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生シートパイプラインでは、追加治験に向け、対象患者のプロトコル、必要な症例数についてPMDAと協議を行ってまいりましたが、ようやく協議が完了し追加治験実施が決定し、治験届を遅くとも2020年末までに提出する予定です。また製造販売承認申請の時期につきましては、対象患者を限定したこと、PMDAから当初の治験よりも多い症例数を求められていることから、2025年を予定しておりますが、今後は、治験期間の短縮に向けて、治療施設の追加等について検討を重ねて参ります。

なお、欧州における食道再生上皮シートに関する開発については、市場性がないと判断し中止することを2020年7月16日に決定しております。

海外展開におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により遅れが生じているものの、今後も引き続き三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)に対して食道再生上皮シート及び軟骨再生シート事業にかかる支援を行って参ります。

また、当社と台湾の三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)が中心となり出資し2020年1月に台湾に設立した合弁会社(UpCellBiomedical Inc.)においては、今後、食道、軟骨以外のパイプライン事業の開発、製造、販売を実施する予定です。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,802千円(前年同四半期比103,198千円の減少)、営業損失は185,297千円(前年同四半期比57,738千円の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて131,481千円増加し、1,376,967千円となりました。これは主に、売掛金が39,373千円減少した一方で、現金及び預金が217,734千円増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて804千円増加し、211,560千円となりました。これは主に、投資その他の資産が1,865千円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて132,286千円増加し、1,588,528千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて9,028千円減少し、101,418千円となりました。これは主に、買掛金が4,056千円、未払金が1,157千円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて9,028千円減少し、101,418千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて141,314千円増加し、1,487,109千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失340,693千円を計上した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金が243,385千円、資本剰余金が243,385千円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて295,192千円増加し1,282,807千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は260,436千円(前年同四半期比202,058千円の支出増)となりました。これは主に、その他流動資産の減少額45,170千円、売上債権の減少額39,117千円があった一方、税金等調整前四半期純損失340,088千円を計上したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は5,391千円(前年同四半期比2,370千円の支出減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,883千円、敷金の差入による支出2,330千円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は484,636千円(前年同四半期比484,636千円の収入増)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入484,636千円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年7月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,065,072	1,282,807
売掛金	56,562	17,188
商品及び製品	16,489	12,945
仕掛品	1,537	4,501
原材料及び貯蔵品	30,164	28,866
前払費用	19,093	9,943
その他	56,566	20,715
流動資産合計	1,245,486	1,376,967
固定資産		
有形固定資産	29,113	28,022
無形固定資産	552	583
投資その他の資産	181,089	182,954
固定資産合計	210,755	211,560
資産合計	1,456,242	1,588,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,313	5,256
未払金	33,733	32,575
未払法人税等	10,574	14,911
賞与引当金	4,244	4,224
前受金	30,114	30,169
その他	22,467	14,281
流動負債合計	110,447	101,418
負債合計	110,447	101,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,872,335	4,115,720
資本剰余金	1,094,132	1,337,517
利益剰余金	△3,617,630	△3,958,323
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,348,609	1,494,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△21,340	△22,729
その他の包括利益累計額合計	△21,340	△23,050
新株予約権	18,525	15,472
純資産合計	1,345,795	1,487,109
負債純資産合計	1,456,242	1,588,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	162,350	58,327
売上原価	28,768	17,953
売上総利益	133,582	40,374
販売費及び一般管理費		
研究開発費	208,463	181,099
その他	246,215	199,995
販売費及び一般管理費合計	454,678	381,095
営業損失(△)	△321,096	△340,721
営業外収益		
受取利息	5	5
為替差益	158	334
受取手数料	191	204
還付加算金	175	47
その他	13	32
営業外収益合計	543	623
営業外費用		
新株発行費	—	1,727
営業外費用合計	—	1,727
経常損失(△)	△320,552	△341,825
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,737
特別利益合計	—	1,737
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,552	△340,088
法人税、住民税及び事業税	△1,317	605
法人税等合計	△1,317	605
四半期純損失(△)	△319,234	△340,693
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△319,234	△340,693

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△319,234	△340,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△4,792	△1,389
その他の包括利益合計	△4,792	△1,710
四半期包括利益	△324,026	△342,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△324,026	△342,403
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,552	△340,088
減価償却費	2,161	4,300
受取利息	△5	△5
為替差損益(△は益)	2	—
株式報酬費用	646	—
新株発行費	—	1,727
新株予約権戻入益	—	△1,737
売上債権の増減額(△は増加)	308,050	39,117
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,314	1,878
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,441	45,170
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,533	△4,056
未払金の増減額(△は減少)	847	△2,008
前受金の増減額(△は減少)	△49,559	55
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,703	△19
その他の流動負債の増減額(△は減少)	660	△6,765
小計	△49,823	△262,432
利息の受取額	4	4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,559	1,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,378	△260,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,487	△2,883
無形固定資産の取得による支出	△275	△177
敷金の差入による支出	—	△2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,762	△5,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	484,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	484,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,138	△1,073
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,279	217,734
現金及び現金同等物の期首残高	1,057,893	1,065,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	987,614	1,282,807

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ243,385千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,115,720千円、資本剰余金が1,337,517千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	57,350	105,000	162,350	—	162,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	57,350	105,000	162,350	—	162,350
セグメント損失(△)	△20,313	△127,559	△147,873	△173,222	△321,096

(注) 1 セグメント損失の調整額△173,222千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,524	1,802	58,327	—	58,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	56,524	1,802	58,327	—	58,327
セグメント損失(△)	△7,106	△185,297	△192,403	△148,317	△340,721

(注) 1 セグメント損失の調整額△148,317千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 第三者割当による第19回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行

当社は、2020年7月21日付の取締役会の決議に代わる書面決議により、以下のとおり第三者割当による新株予約権(行使価額修正条項付)を発行することを決議いたしました。

(1) 新株予約権の総数

35,000個

(2) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

普通株式3,500,000株

(新株予約権1個当たり100株)

上限行使価額はありません。下限行使価額は186円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は3,500,000株です。

(3) 新株予約権の払込金額

総額 3,780,000円

(新株予約権1個当たり108円)

(4) 新株予約権の払込期日

2020年8月6日

(5) 行使価額及び行使価額の修正条件

当初行使価額 1株当たり372円

2020年8月7日以降、行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日に、当該効力発生日の直前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の終値(同日に終値が無い場合には、その直前の終値)の93.5%に相当する金額に修正されますが、かかる計算による修正後の行使価額が下限行使価額を下回ることとなる場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。

(6) 行使期間

2020年8月7日から2021年8月6日

(7) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金

① 本件新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算出された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。

② 本件新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本準備金の額は、上記i記載の資本金等増加限度額より上記iに定める増加する資本金の額を減じた額とする。

(8) 募集又は割当方法

第三者割当の方法による

(9) 割当先

パークレイズ・バンク・ピーエルシー

(10) 資金の使途

① 研究開発資金

② 運転資金

2. 第19回新株予約権の権利行使

当社が2020年8月6日に発行した第19回新株予約権につき、2020年8月7日から2020年8月12日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

① 新株予約権の名称

株式会社セルシード第19回新株予約権

② 行使価格

1株あたり321~327円

③ 行使新株予約権個数

400個

④ 行使者

パークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)

⑤ 交付株式数

40,000株

⑥ 行使価額総額

12,987千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
40,000株
- ② 増加する資本金の額
6,515千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,065,072千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当第2四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。